

# 平和の鐘を鳴らそう in 飛鳥寺

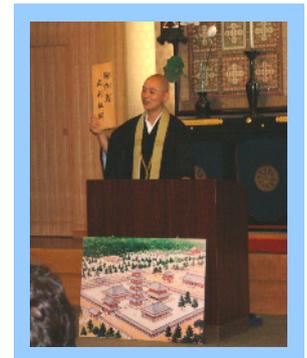
2010年7月19日(祝)「平和の鐘を鳴らそう in 飛鳥寺」を開催しました。

飛鳥寺はユネスコ世界遺産暫定リストに登録されている「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産(飛鳥寺跡)の1つです。蘇我馬子が発願し、第33代推古天皇4年(596)に創建された日本で最初の寺で、同17年(609)鞍作鳥(止利仏師)によって造られた日本最古の仏像“飛鳥大仏”でよく知られています。



当日はユネスコ会員、一般の方、ボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたち計約70人が参加しました。

飛鳥寺の副住職から「飛鳥寺について」の講話を聞き、続いて明日香村文化財課の職員より講演をいただきました。創建当時の飛鳥寺は東京ドームよりも大きな面積の伽藍を持つ大きなお寺だったそうです。



鐘をつく前にボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたちが「わたしの平和宣言」を読みあげて、参加者の皆さんに紹介。その後、参加者ひとりひとりが平和への思いを胸に、また、声にしながら順番に鐘をつきました。



「わたしの平和宣言」を読んでもらいました

「平和の鐘運動」はノーベル平和賞受賞者たちによって起草された「わたしの平和宣言」を紹介しながら音(かね)によって“平和への祈りと願い”を表現する活動です。日本各地80ヶ所以上のユネスコ協会で開催されています





## わたしの平和宣言



私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

### 1. 「すべての生命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

### 2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

### 3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

### 4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

### 5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

### 6. 「みんなで力を合わせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

<(社)日本ユネスコ協会連盟 訳>

\* 「わたしの平和宣言」「MANIFEST 2000」はノーベル平和賞受賞者たちの起草した誓いです。